

日本規格協会規格（JSA 規格）
『無機物を主成分とする無機・有機複合マテリアル（JSA-S1008）』
を開発・発行

2021年4月19日
一般財団法人日本規格協会

一般財団法人日本規格協会（本部：東京都港区、理事長：揖斐敏夫）は、JSA規格 JSA-S1008『無機物を主成分とする無機・有機複合マテリアル』（Inorganic-organic composite materials mainly composed of inorganic substances）を2021年4月19日に発行いたしました。

このJSA規格は、株式会社TBMが主体となって開発したもので、主要な構成素材（構成する素材のうち、質量分率が最大の素材）が一種類の無機物であり、無機物の総量が質量分率で50%を超え、かつ、熱可塑性樹脂と熔融混合して得られる複合材料について規定したものです。この規格を制定することにより、当該材料の市場拡大、品質安定化及び幅広い関係者の利用を通して、公正な取引及び公共の利益に資することが期待されます。

JSA 規格とは

JSA規格は、多様な規格開発ニーズをもつ様々なステークホルダー（企業、団体、政府機関、学会など）からの相談・提案を受け、日本規格協会が発行する民間規格です。2017年6月の制度創設以来、提案者の自主的な規格作成の取組みに対し、標準化の専門機関である日本規格協会が、質の高い、効率的な規格開発のプロジェクトマネジメント支援を提供し透明性・公平性及び客観性を確保したJSA規格を迅速に開発しています。

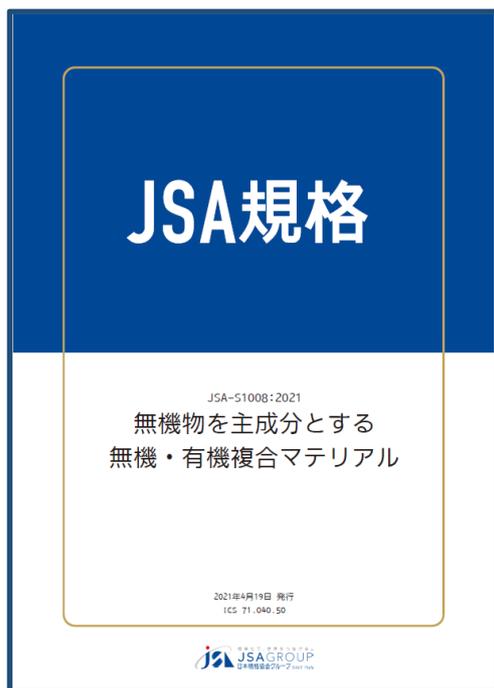
無機成分を主成分とする無機・有機複合マテリアル（JSA-S 1008）について

今回制定されたJSA-S1008（無機成分を主成分とする無機・有機複合マテリアル）では、我が国の「容器包装リサイクル法」の特定事業者の再商品化（リサイクル）義務の対象外とされている、主要な構成素材（構成する素材のうち、質量分率が最大の素材）が一種類の無機物であり、無機物の総量が質量分率で50%を超える材料について、「無機物の総量に関する

る質量分率の測定」、「熱可塑性樹脂の有無の確認」及び「主要な構成素材及び第二素材の種類及び質量分率」の確認・試験方法などについて規定しています。

お問い合わせ

一般財団法人日本規格協会 JSA 規格事務局 (E-mail : jsastandard@jisa.or.jp)



JSA-S1008 : 2021（無機物を主成分とする無機・有機複合マテリアル）は、日本規格協会のHP から検索できます。

<https://webdesk.jisa.or.jp/books/W11M0070/index>

株式会社 TBM の LIMEX については、下記 HP をご参照ください。

<https://tb-m.com/limex/>